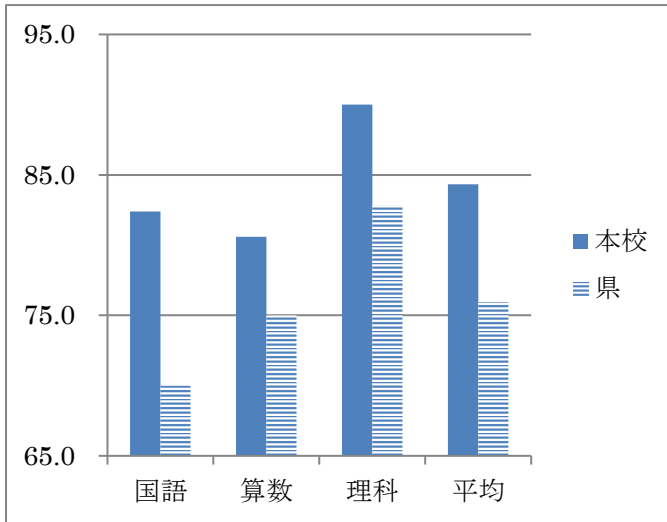


平成 28 年度県学習状況調査結果について

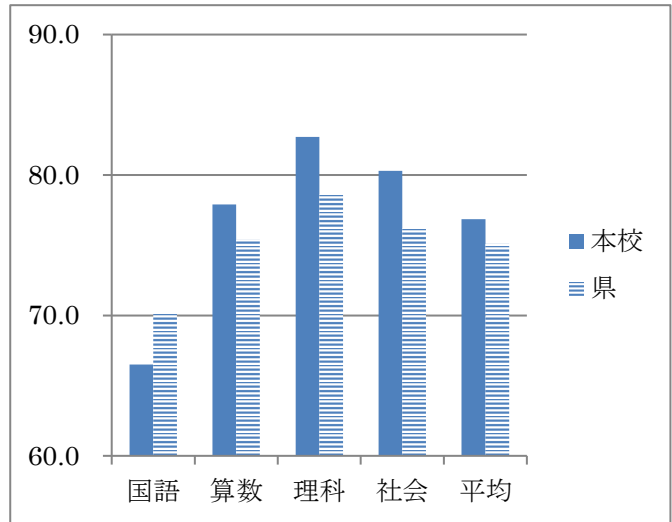
昨年 12 月 1 日、4 年生から 6 年生を対象に県学習状況調査が行われ、結果が次のようにまとまりました。この調査は子どもたちの学習の到達度や定着度などを把握して、よいところは一層の充実を図り、不足している部分については、子どもや保護者の皆さんとも問題点を共有し、授業の改善や生活の見直しを図っていかうとするものです。

各教科調査結果

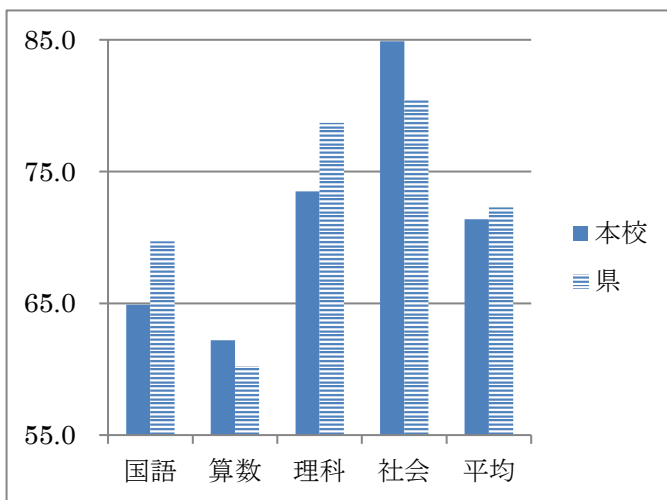
4 年生



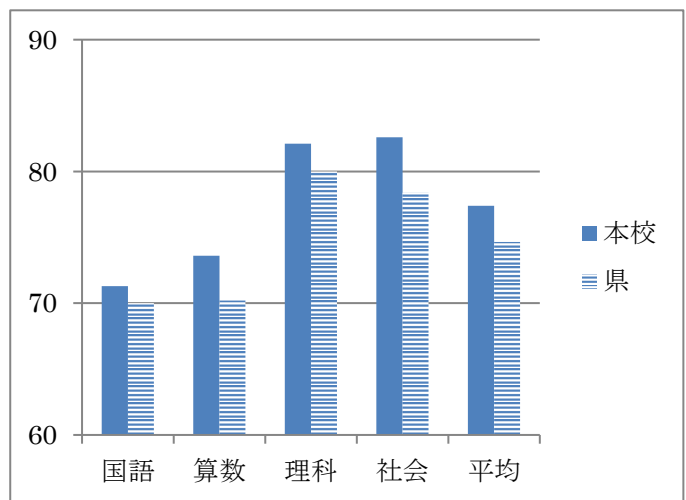
5 年生



6 年生



4 年から 6 年までの教科別平均



全般的に県平均を上回る良好な結果となりました。

4 年生では全教科が平均を上回り、特に国語では 10 ポイント以上上回ったほか、理科や算数も良好な結果で、学習内容を概ね理解していることがわかりました。

5 年生では国語がローマ字や説明文の読解などで通過率が下がるなどして 3 ポイント平均を下回ったものの、算数・理科・社会が 2～4 ポイント近く平均を上回り、全体的に県平均を 2 ポイント近く上回りました。

6 年生は、算数と社会が平均を上回るなど、春の全国調査から力をつけていることがわかりました。一方、国語ではローマ字の問題や理科のものの溶け方などの問題が平均を下回り、全体的には県平均をわずかに下回っています。

教科別では、全教科について県平均を上回っているものの、国語に課題があることが明らかになっています。「国語が好き」と答えた児童は県平均を上回っており、今後の国語の授業について指導方法や学習方法の改善を図ってまいります。

なお、各教科の課題については 1 月以降の授業等で各学級が取り組み、課題解決をして進級させたいと考えています。

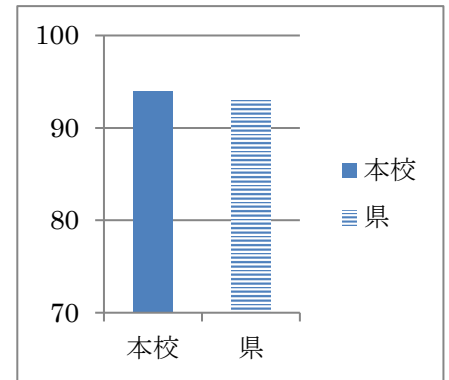
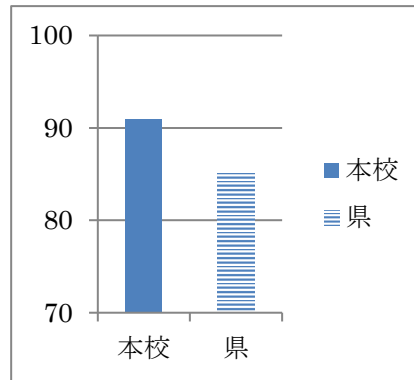
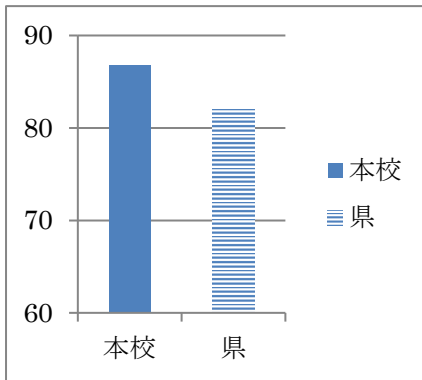
児童質問紙調査結果

◇ 県平均を上回った主な質問

「勉強が好きだ」

「外国語活動が好きだ」

「話し合う活動をよく行う」



学習への意欲についてはどの学年も良好で、各教科が好きかという問いについても、ほぼ県平均を上回っています。特に外国語活動については10ポイント近く上回り、英語への期待が高いことがわかりました。

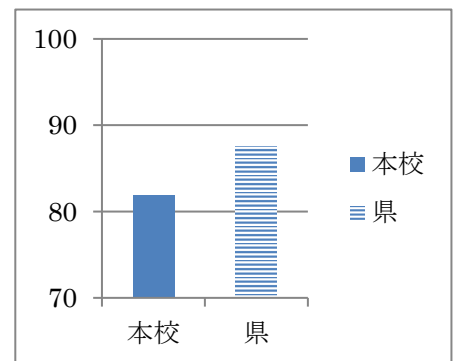
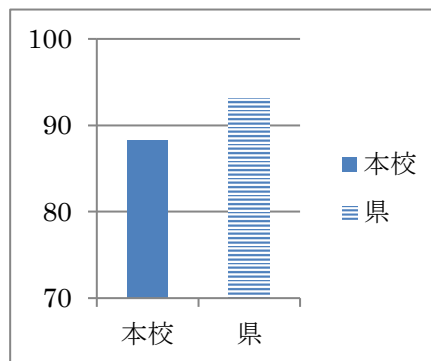
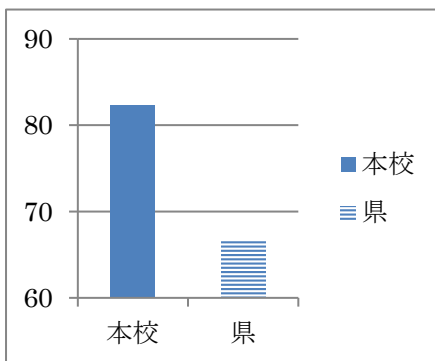
また、本校では今年度、対話のある授業や生活を目指して話し合い活動を積極的に行ってきましたが、子どもたちにもそうした活動が定着していることがわかりました。

◆ 課題があった主な質問

「家庭学習が1時間以下」

「将来の夢がある」

「読書が好きだ」

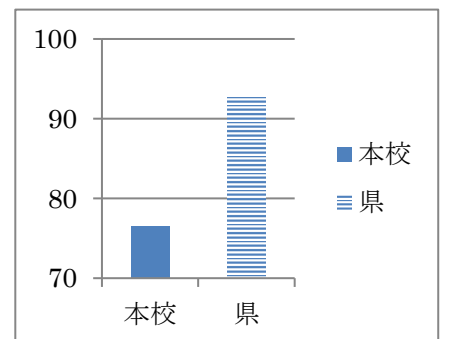
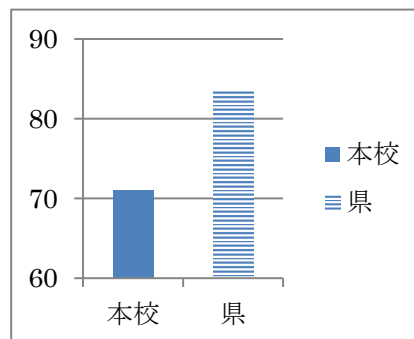
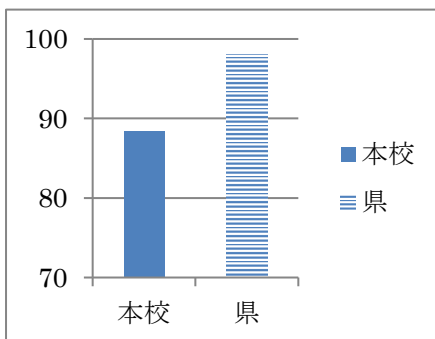


◆ 各学年で課題があった質問

「勉強は大切だ」(4年生)

「自分にはよいところがある」(5年生)

「自分の意見を発表している」(6年生)



一方、家庭学習時間については県平均を大幅に下回り、復習や予習が定着していないことがわかりました。また、将来の夢に向けたキャリア教育の充実や、読書活動を進めていくことの必要性も明らかになったほか、各学年でも課題が散見されました。

今年度は学習の充実、子どもたちの自主性の向上を目指して多くの取り組みを進めてきましたが、今回の調査をさらに分析して、来年度の計画を皆さんに示してまいります。